

1 教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。（知識及び技能）
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	前期は家庭分野の学習になります。	
二学期	B エネルギー変換に関する技術 身のまわりの生活とエネルギー変換の関わり 電気エネルギーの利用 製作活動（手回し発電機付きラジオ） 動力の利用 エネルギー変換の実際 エネルギー変換に関する技術の評価・活用	電気，運動，熱の特性等の原理・法則と，エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解する。 技術に込められた問題解決の工夫について考える。 安全・適切な製作，実装，点検及び調整等ができる。 生活や社会，環境との関わりを踏まえて，技術の概念を理解する。 技術を評価し，適切な選択と管理・運用の在り方や，新たな発想に基づく改良と応用について考える。
三学期	D 情報に関する技術 情報通信ネットワークの利用 情報通信ネットワークと情報セキュリティ	情報の表現，記録，計算，通信の特性等の原理・法則と，情報のデジタル化や処理の自動化，システム化，情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解する。 技術に込められた問題解決の工夫について考える。 情報通信ネットワークの構成と，情報を利用するための基本的な仕組みを理解し，安全・適切なプログラムの制作，動作の確認及びデバッグ等ができる。

3 評価の観点・資料、方法

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	確認テスト、ポートフォリオ、ワークシート、実習での様子、製作品
思考・判断・表現	授業内の発言・様子、ワークシート、ポートフォリオ、実習の様子、製作品
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子、ワークシート 振り返りカード、製作品等